

在宅医療出前講座 アンケート集計

我が家で自分らしく生き、暮らし続けるために ～ 在宅医療とは ～

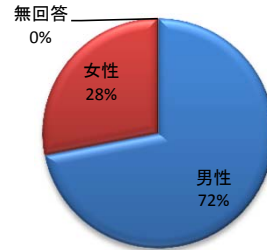
平成26年 7月13日 富益公民館

講師 小田 貢 先生(真誠会セトリルクリニック)

回収率95%(57人/60人)

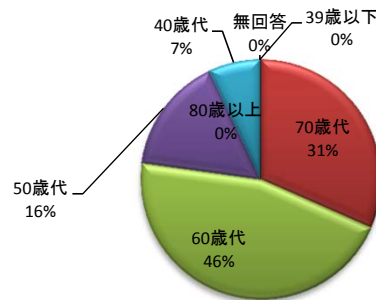
★ 性別

	件数	割合
男性	41	72%
女性	16	28%
無回答	0	0%
合計	57	100%



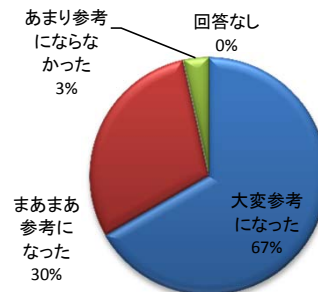
★ 年齢

	件数	割合
80歳以上	0	0%
70歳代	18	32%
60歳代	26	46%
50歳代	9	16%
40歳代	4	7%
39歳以下	0	0%
無回答	0	0%
合計	57	100%



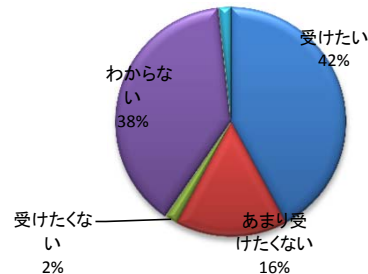
★ 講演はいかがでしたか。

	件数	割合
大変参考になった	38	67%
まあまあ参考になった	17	30%
あまり参考にならなかった	2	4%
難しかった	0	0%
わからない	0	0%
回答なし	0	0%
合計	57	100%



★ 在宅医療を受けられますか。

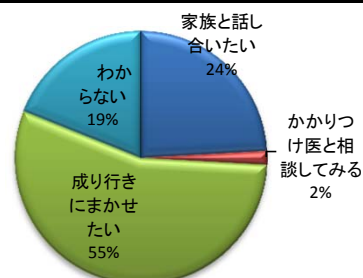
	件数	割合
受けたい	24	42%
あまり受けたくない	9	16%
受けたくない	1	2%
わからない	22	39%
無回答	1	2%
合計	57	100%



★ 自分の逝き方について

(複数回答あり)

	件数	割合
家族と話し合いたい	14	24%
かかりつけ医と相談してみる	1	2%
成り行きにまかせたい	32	55%
考えたくない	0	0%
わからない	11	19%
無回答	0	0%
合計	58	100%



平成26年 7月13日 富益公民館

講師 小田 貢 先生(真誠会セトリカリニク)

回収率95%(57人/60人)

自由記載覧

今日の講演のご感想や今後この講座で聞いてみたい内容、その他、西部医師会へ聞いてみたい事など何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

- ・自分が認知症になった時にどうなるかが心配だ。
- ・本日の話を聞いて地区での（自治会単位）在宅医療の必要性を感じた。高齢者と若い方の話し合い、互いに助け合う組織を早く作ることが大切。
- ・小田先生の講演はいつ聞いても参考になり楽しく老人生活を送りたいと思います。
- ・組織としての介護の必要性。富益福祉ネットの強化必要。
- ・実際の状況になってみなければわからないが、何はともあれ家族と話し合いたいと思っている。
 - ・自分の考え（生き方）を尊重したいので、家族と話し合うにしてもなるべく意見を通したい。地域の為に役立ちたいと思っているので、年はとって若い気分ではいるので、幸せだと感じている。
- ・高齢化社会での在宅医療はもう片方の老人に負担が多くかかり、共倒れになる確率が高くなるので老人ホームの充実化を促進すべきである。（介護士がいても負担は掛かる。）
- ・病気を早期に発見する施設・設備を整え、健康な人が増えるようにしてほしい。
- ・先日深夜、真誠会CCにて亡くなりました。小田先生、担当医の方、看護師の方（2名）大変お世話になりました。直接お礼を申し上げたかったのですが、退場がお早く機会を逃しました。感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・その時の環境・状況が許せば在宅医療を受けたい。